

今週の

# いきもの広場

## ① トホシテントウのさなぎ



幼虫の姿で樹皮などのすきまに隠れ、冬を越します。広場の幼虫は次々とまゆになっています。成虫が見られるまでもう少しです。

## ② ウスバカゲロウの幼虫



軒下など雨の当たらない地面に幼虫が作るすり鉢状の巣は、アリジゴクの巣として知られます。(右の写真は土の下にいる幼虫です)

## ③ カブトムシの幼虫

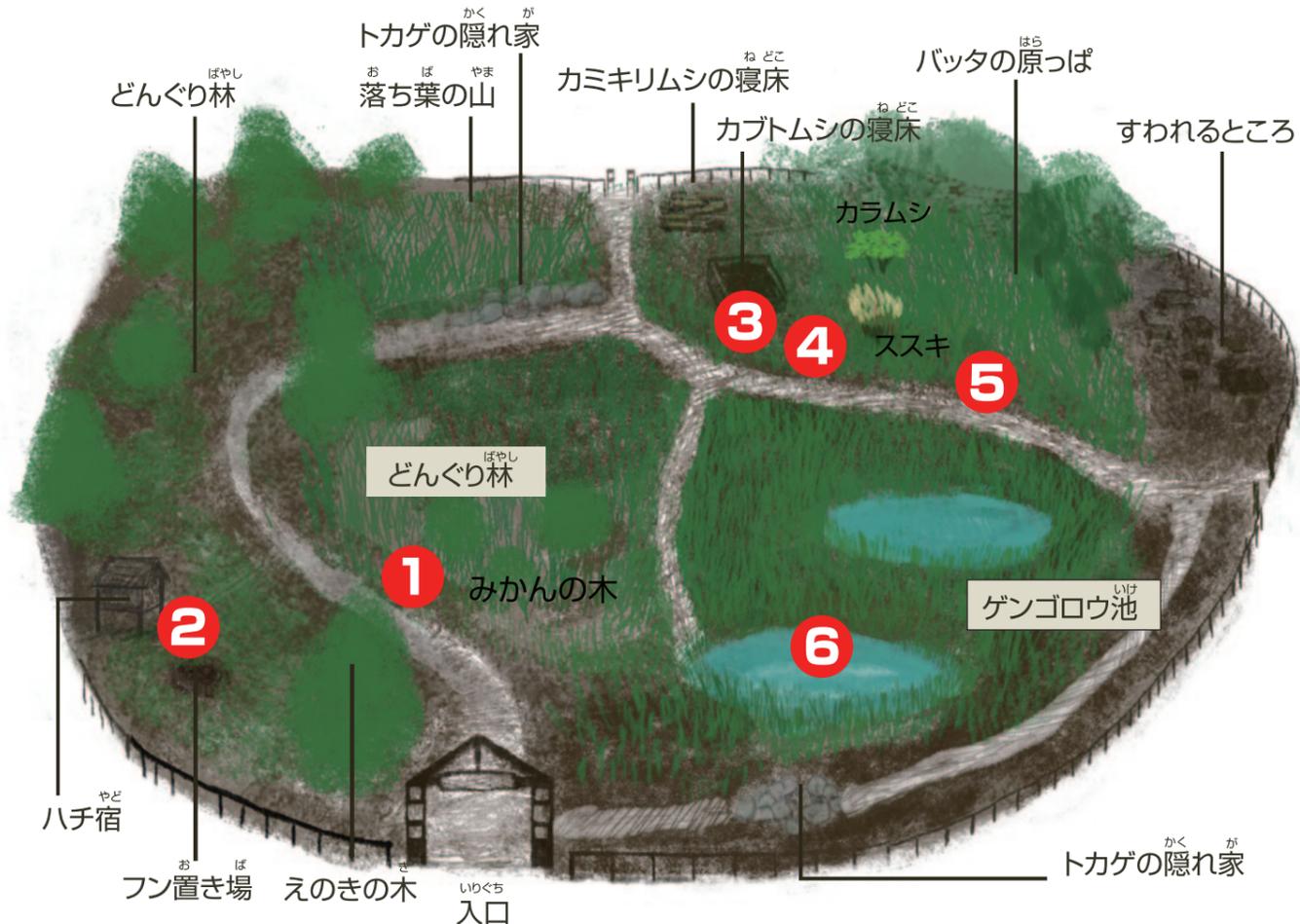


昨年の秋に卵からふ化した幼虫は、土の下に深くもぐり、冬を越します。初夏にはさなぎになり、夏には成虫が見られるようになります。

## ④ アカシマサシガメ



広場では石や朽ち木の下でよく見つかります。肉食性で、くちの針をヤスデなどの獲物の体に刺し、ストローのように吸い取ります。触る時は、十分注意して触りましょう。



## ⑥ アズマヒキガエルのオタマジャクシ



2月に池の中に産み落とされた卵が、3月下旬頃、一斉に孵りました。5月には手足が生えそろう、上陸すると思われます。

## ⑤ ヒガシニホントカゲ



冬の間、落ち葉の下や土の中にもぐりじっとしていたトカゲも、近頃の陽気で活発に動き出しました。(写真の観察ボードの下で発見)

## ハチ宿の竹筒を新調しました

ハチ宿は、ドロバチのなかまを広場に呼ぶためのしかけです。設置されている竹筒の穴が土でふさがれていたら、ドロバチが卵を産みつけた証拠です。産卵期間は5月～9月頃まで。

